

令和4年度第1回かわさき犬・猫愛護ボランティア会議摘録

1 開催日時

令和4年6月12日（日）

2 開催方式

書面会議（開催当日に、郵送またはメールで会議資料を送付）

3 意見書及び質問について

●資料1 動物愛護センターの運営状況について

- ①来館者の推移について
- ②施設の貸し出しについて
- ③施設見学について
- ④犬猫等の譲渡について
- ⑤動物愛護事業への寄附について
- ⑥ネーミングライツパートナーについて

○意見書

ご意見

- ・センターの動物は殺処分されている人が多いと思う。
- ・災害対応等ボランティアについて知りたい。

ご質問

①来所者について

Q. 川崎北部（多摩区、麻生区）からの来所人数はどのくらいですか。

A. 来所者の人数については、来客カウンターにより自動でカウントしているため、来所者の居住地については、データがありません。

③施設見学について

Q. バックヤードツアーの15時の回を復活させてほしい。

A. 15時以降、飼養管理の都合上、見学者の方にお見せできないエリアがあるため、基本的には11時と14時の2回で行っております。見学者のご都合が合わない場合には、臨時のバックヤードツアーを実施して、対応しております。

④譲渡について

Q. 令和3年度の動物の収容数について教えてください。

A. 令和3年度の動物の収容数は以下のとおりです。

			頭数
犬	捕獲・所有者不明犬の引取り	生後90日以上	34
		生後90日未満	0
	所有者からの引取り	生後90日以上	4
		生後90日未満	0
	負傷動物の保護	生後90日以上	2
		生後90日未満	0
猫	所有者不明猫の引取り	生後90日以上	3
		生後90日未満	165
	所有者からの引取り	生後90日以上	47
		生後90日未満	47
	負傷動物の保護	生後90日以上	73
		生後90日未満	46
その他	所有者からの引取り (警察を含む)	うさぎ	8
		ニワトリ	0
		はと	0
		あひる	0
		その他	10
	負傷動物の保護	うさぎ	0
		ニワトリ	0
		はと	2
		あひる	0
		その他	0

Q. 犬より猫のほうが譲渡数が多いのはなぜでしょうか。

A. 犬と猫では、猫のほうが収容数が多いことが大きな要因の1つです。また、飼い主を募集している収容犬は、中型以上の犬が多く、年齢も高齢であることから、飼養を希望する方が少ないという現状があります。

⑤動物愛護事業への寄附について

Q. 寄附（金銭）の収支を教えてください。

A. 皆様からの温かいお心により、たくさんのご寄附とご支援をいただき、動物愛護基金の積立額も増加しております。

これまでに、フード、子猫用ミルクなど収容動物の飼料、抗生剤、手術糸、ワクチンなどの動物処置用品、ペットシート、猫砂、ケージなど飼育環境用品、手術機器、検査機器などの動物愛護センター再編整備、災害対策や地域猫活動などの適正飼養普及啓発物品に活用させていただいています。

今後も、他都市の状況等を参考にしながら、動物愛護行政の更なる推進を図るため、基金の有効な活用方法について検討してまいります。（生活衛生担当）

(参考)動物愛護基金の活用状況

年度	寄附の状況			活用した額	積立した額
	物品	件数	合計金額		
令和3年度	668件	161件	¥30,249,040	¥6,191,655	¥24,057,385
令和2年度	506件	217件	¥32,291,735	¥3,498,294	¥28,793,441
令和元年度	515件	172件	¥10,865,312	¥5,614,513	¥5,250,799
平成30年度	206件	176件	¥16,916,812	¥8,016,390	¥8,900,422
平成29年度	208件	208件	¥12,146,786	¥2,999,920	¥9,146,866
平成28年度	212件	209件	¥9,234,653	¥1,234,653	¥8,000,000

●資料2 令和4年度動物愛護センター業務支援ボランティアの活動予定について

- ①いのち・MIRAI 教室等支援ボランティア
- ②啓発物作成ボランティア
- ③成猫飼養管理支援ボランティア
- ④成犬飼養管理支援ボランティア
- ⑤譲渡会運営支援ボランティア
- ⑥植栽等清掃支援ボランティア

○意見書

- ①いのち・MIRAI 教室等支援ボランティア

ご意見

- ・これからも子供の啓発活動に力を入れてほしい。
- ・近所の小学校で活動する際は、参加したい。
- ・もっと開催数を増やしてほしい。

ご質問

Q. 「せたさんものがたり」とはどのようなものですか。

A. 「せたさんものがたり」とは、いのち・MIRAI 教室のプログラムの1つで、主に小学2年生を対象に行っております。このプログラムは、センターに収容された犬「せたさん」を題材として、子どもたちに動物の気持ちについて考えてもらう内容となっています。プログラムの詳細については、川崎市動物愛護センターのホームページにいのち・MIRAI 教室の案内がありますので、そちらをご覧ください。

- ②啓発物作成ボランティア

ご意見

- ・仕事等の調整をしたいので、活動日程を早めに知らせてほしい。

- ③成猫飼養管理ボランティア

ご意見

- ・活動に参加したいが、現在募集枠がないため、残念だ。

- ④成犬飼養管理ボランティア

特になし

⑤譲渡会運営ボランティア

ご意見

- ・コロナ禍に入り、譲渡会が中止になってからやることがなく、存在意義がないと感じてしまう。
- ・（自分が）保護した猫を参加させたい。

⑥植栽等清掃ボランティア

特になし

⑦その他

ご意見

- ・活動がもっと多いほうがやりがいを感じる。
- ・ボランティア同士で対面での関わりが欲しい。

ご質問

Q. 業務支援ボランティアとは、何でしょうか。

また、参加するにはどのようにしたらよいのでしょうか。

A. 業務支援ボランティアとは、センターの業務支援や運営協力について、6種

（いのち・MIRAI 教室等、啓発物作成、成猫飼養管理、成犬飼養管理、譲渡会運営、植栽等清掃）の業務に関して、御支援、御協力いただいているボランティアのことです。登録にあたり、センターが定める共通基礎研修を修了し、業務支援ボランティア審査要領に規定する審査を通過していることが、条件となっています。現在は、新規募集を行っていませんが、令和5年度秋ごろに第13期かわさき犬・猫愛護ボランティアと併せて、募集を行う予定です。

なお、コロナ禍での運営状況等を踏まえて、現在の募集体制を変更する場合がございますので、ご了承ください。

●資料3 子猫飼養管理支援ボランティア実施要綱制定について

○意見書

ご意見

- ・仕事の都合で参加できないが、近隣地域で普及啓発などを行っていききたい。
- ・ボランティアの数が増えるのはよいことだと思う。
- ・研修だけでも受けてみたい。そのあと本登録するかどうか検討させてほしい。
- ・子猫を育てるのは本当に大変だと思うので、登録している人には頭が下がる。
- ・TVなどで関心が高まっている中、対象を広げたのは正解だと思う。

ご質問

- Q. ペット不可の物件に住んでいる人でもできることはありませんか。
- A. 申し訳ございませんが、子猫飼養管理業務支援ボランティアについては、御自宅での動物のお預かりをお願いしているため、ペット不可の物件にお住まいの場合は、ご登録できません。

●資料4 動物愛護フェア2022開催計画について

○意見書

- ・久しぶりの愛護フェア、楽しみ
- ・マイクロチップ関連のリーフレット等、タイムリーでよいと思う。
- ・各区でも開催してほしい。
- ・譲渡会がしたい。
- ・今後も複数日開催がいい。

●自由意見

<ボランティア活動全般について>

- ・区での集まりが欲しい。
- ・他のボランティアとの関わりがほしい。
- ・ボランティア（ドッグトレーナー）などが持っている知識をほかの人に共有してほしい。
- ・災害時のボランティアの動きを明確にしてほしい。
- ・もっとセンターから仕事を振られるものだと思っていた。
- ・ボランティアは使い捨てなのか？
- ・ボランティアに何をしてほしいのか、わからない。
- ・馴化のための預かりボラのカテゴリーがほしい。

<地域猫活動等について>

- ・センターで（猫部が依頼を受けている件の）手術をしてほしい。
- ・庭猫や会社敷地内の猫に関する勉強会がやりたい。
- ・もっと地域猫の認知度があがればいいと思う。
- ・TNRについてもっと普及してほしい。

<その他>

- ・もっとセンターの認知度が上がればいいと思う。